

釧路赤十字病院

所属メンバー

- ・永島 哲郎 (副院長、昭和 50 年卒)
- ・仲西 正憲 (第 1 部長、昭和 56 年卒)
- ・鈴木 靖人 (第 2 部長、平成 7 年卒)
- ・小西 祥平 (第 3 部長、平成 11 年卒)
- ・寺本 忍 (医師、平成 13 年卒)(~2012 年 5 月)
- ・高橋 大介 (第 1 副部長、平成 19 年卒、非医会員)
- ・高橋 俊行 (第 2 副部長、平成 19 年卒)
- ・藤本 隆憲 (医師、平成 21 年卒)
- ・中村 雄一 (医師、平成 21 年卒)

卒後臨床研修医

3 人

他に釧路労災病院の初期研修医 2 年目 2 名が 3 カ月間及び 1 カ月間それぞれ小児科で初期臨床研修

専門外来

- ・神経疾患外来 (×1 /週)
- ・喘息アレルギー疾患外来 (×1 /週)
- ・心臓疾患外来 (×2 /週)

大学等他施設からの出張医による専門外来

- ・心臓外来 (×2/月)
- ・血液悪性腫瘍外来 (×1/2 月)
- ・内分泌代謝外来 (×1/3 月)
- ・腎臓外来 (×1/3 月)
- ・遺伝染色体外来 (×1/6 月)
- ・小児外科外来 (×1/6 月)

釧路赤十字病院

病院全体の医師数	58 人
小児科医師数	9 人 (うち非常勤 0 人)

病院全体の病床数	489 床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	42 床
NICU 病床数	9 床
新生児病床数(NICU を除く)	9 床

NICU としての認定 あり

平均小児科外来数	106.6 人/日
平均時間外外来数	0.6 人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	2,425 人/年
(NICU 入院患者数 145 人 (延べ 2,612 人))	
年間のべ入院患者数	15,056 人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	335 人/年

年間分娩数	988 人/年
年間低出生体重児(2,500g 未満)数	138 人/年
極低出生体重児(1,500g 未満)数	14 人/年
年間呼吸管理患者数	45 人/年
(DPAP 治療を含む)	

釧路赤十字病院

論文・著書など

1. Takahashi Y, Sugiyama M, Ueda Y, Itoh T, Yagyu K, Shiraiishi H, Ukeba-Terashita Y, Nakanishi M, Nagashima T, Imai T, Motomura M, Saitoh S: Childhood-onset anti-MuSK antibody positive myasthenia gravis demonstrates a distinct clinical course. Brain Dev. 34: 784-786, 2012
2. 菅野 彩、野村達史、今泉俊雄、小松克也、稲村 茂、仲西正憲: 若年性脳梗塞を合併した Prader-Willi 症候群の 1 例. 脳卒中 34:172-176, 2012

学会発表

全国学会

なし

地方学会 (この他、釧路小児科医会研修会での発表 4 題)

1. 高橋俊行、仲西正憲、安藤明子、池田雅彦、高橋大介、阿部二郎、中村雄一、藤本隆憲、寺本 忍、小西祥平、鈴木靖人、永島哲郎、中村明枝、佐々木聡: ネフローゼ症候群としての治療中に高血圧性脳症を発症した溶連菌感染後糸球体腎炎の一例. 日本小児科学会北海道地方会第 284 回例会、旭川市、2012/06/24
2. 藤本隆憲、野呂 歩、中村雄一、高橋俊行、高橋大介、小西祥平、鈴木靖人、仲西正憲、永島哲郎、佐野弘純、小林良二、鈴木大介、安田一恵、小林邦彦、山田雅文: 若年性骨髓単球性白血病類似の症状を呈した Wiskott-Aldrich 症候群の一例. 日本小児科学会北海道地方会第 286 回例会、札幌市、2013/02/24
3. 高橋俊行、野呂 歩、中村雄一、藤本隆憲、高橋大介、小西祥平、鈴木靖人、仲西正憲、永島哲郎、長 和俊、本田昌平、宮崎久之、岡田忠雄: ω 3 脂肪製剤を使用し中心静脈関連肝障害の著明な改善を得た 1 症例. 日本小児科学会北海道地方会第 286 回例会、札幌市、2013/02/24

その他の社会貢献など

1. 釧路市医師会指定の小児科 2 次救急 (×20 日/月)
2. 釧路市内の小中学校・保育園の学校医や園医
3. 釧路管内市町村における乳幼児健診や学校健診および予防接種への協力